

連載

第3回

続・膝栗毛 池田編

山本 伸一

前号のあらすじ
保高（穂高）を出た弥次郎兵衛（弥）と喜多八（北）は高瀬川を渡り池田宿に宿をとる
おやぢ「今のうち湯にござらせませ」（ト、言い置いて、おやぢは下へおりる。さきにとまり合わせたりし男は、江戸のものにて、たびをかそぎであるく画師（ゑし）なり。
ゑし「サアおめへがたアお草臥れだろう。今日はうちから。」
北「アイ栗尾から松尾寺へ参拝しやした。」
ゑし「それはようこそ。おくには。」
北「江戸でござりやす。」
ゑし「そうだろうとおもいやし

た。わつちも江戸の歌麿の門人で奴多丸というもので、此間から当所へまいつておりやすが、モシここにおかしいことがありやす。コリヤ江戸へお帰りなすうて、はなしのたねだ。今夜この娘が、外へ嫁入りしていきやす。ソレおめへがたがここへあがつてきなるとき、下にでうくりとして色の黒い、額口にこれくらのタンコブのある坊様が居申したろう。あれはこの辺の俳諧の師匠で、今度の仲人、イヤこの間から大変の騒ぎで、今夜嫁入りしていくに、わつちが画かきだから、娘のひき眉をつけてやつてくれろと、



挿絵は童画を描かれている大町市宮本在住の宮崎さよ子さんです。
※京間 畳の大きさを6尺3寸と3尺1寸5分とする造り方 主に関西で使われる

頼まれていやすから、おかしいじゃアござりやせんか。」
弥「そいつはおもしろい。どうぞその娘を見てへものだ。」
ゑし「今に見なせへ。それこそ大変なあばたで、足の太い、尻が京間で、七、八間はありやす。」・・・2m位（ト、このはなしのうち、下女きたりて女「おきやくさま、湯にござらせへまし。」

弥「ドレドレ娘御を拝見いたそうか。」（ト、下へおりてゆく。やがて北八も入り終え、ほどなく飯もでて、食べ終わつたころ、下よりおやぢの声で）
おやぢ「せんせいせんせい、

ちよと来てくれさい。」
ゑし「アイアイ、それへ参りやしよう。モシここから覗いて御らんない。」（ト、画描きは筆箱をもつて下へゆく。弥次郎、北八は二階の上がり口までは

後期高齢者医療制度改悪 半数以上が負担増に

75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療制度で、所得の低い人の保険料軽減措置を段階的になくす方針を厚生労働省が打ち出しました。

負担増になる高齢者は約865万人、加入者の半数以上です。保険料負担が3倍にもなる世帯も生まれるなど2008年の制度開始以来、最大規模の改悪案です。

年金は減らされる一方なのに医療・介護などの負担はふくらむ。長生きをますますつらくする改悪は許されません。後期高齢者医療制度は、小泉純一郎政権の社会保障破壊「構造改革」路線の柱として06年に導入が決められ、08年に実施が強行されました。

いでて、下をのぞき見れば、娘ひとりをおおぜいでとりまき、母親、化粧をしてやる後ろに、おやぢ目がねをつけてのしかかりながら、

次号に続く

シリーズ 自民党の憲法改悪案（その17）最終回 沖縄知事選に勝利し 改憲安倍ノーのたたかいに

憲法9条がノーベル平和賞の受賞なるかーテレビ各局は発表当日午後6時台に番組を設定、翌日の新聞は「平和憲法が世界に広まった」と報じ、「改憲の動きにたいし国民が9条を守り切ったとき、ノーベル平和賞が授与されると思う」との「憲法9条にノーベル賞を」実行委員会の声を伝えました。

さて政府・自民党は、集団的自衛権の閣議決定を実行する関係法を来年の通常国会で成立させる準備を進めていますが、同時に11月に迫った沖縄知事選を重視しています。

いま進めている辺野古新基地建設、つまり政府の方針が貫かれるかどうか、アメリカと共同する世界戦略が前に進むかどうかの試金石になるからです。

沖縄県民の80%が辺野古新基地建設に反対していますが、

安倍政権は「肅々とすすめるだけ」と絶対多数の県民の声を無視しています。

沖縄県民のたたかいは、いま保守・革新の垣根なく経済界をも含め「島ぐるみ」のたたかいに膨れあがり、仲井真知事の裏切り後、キャンプ・シュワブ前や、9・20（辺野古5500人）、10・9（県庁前3800人）集会へと広がっています。

その県民の声に応え、「辺野古に絶対、基地はつくらせない」と立候補したオナガ雄志那覇前市長（元自民党派連幹部）を先頭にして……。

王国だった琉球（現沖縄）が薩摩藩により日本に併合され、太平洋戦争末期に激戦の戦場と化し20数万人もの死者を出した沖縄は、講和条約後も米施政権下におかれ、日本復帰後も巨大な米軍基地付き、その69年間、沖縄で

日本共産党池田支部が実施した「町政要求アンケート」に様々な要望が！

日本共産党池田支部は「町政要求アンケート」を実施しました。9月に全戸に配布し、10月末までに349通の回答が寄せられました。集計結果を「池田民報」で配布すると共に、寄せられた要望を元に「15年度予算要望書」を作成し、町に申し入れを行う予定です。

「意見・要望」に記載していただいた中から選び、下記に掲載しました。

日本共産党池田支部

- ・消費税8%でも大変です。10%なんてとんでもない。生きていかれません。
- ・町中にスーパーがなく、老人は悲鳴を上げている。生鮮品が買いたい。
- ・過去4回転居したが、池田町の水道代が一番高い。引き下げを望む。
- ・休日、雨の日に子どもを遊ばせる場（公園、施設）を作って。
- ・桑茶とハーブのブレンドによる健康茶の開発を。（薬科大学との連携で）
- ・児童館が狭くて古い。建て替えを。
- ・吾妻町から池田保育園への道が危険、歩道を設置して。
- ・県道の段差解消など障がい者にやさしい町づくりを。
- ・認知症が増えるので、早期対応の充実を望む
- ・学校の給食に安全な地元食材を。
- ・防災ヘルメットの購入に補助を。
- ・高齢者の交通手段の確保を。自分で買い物がしたい。
- ・老若男女が自由に活動でき、楽しめる地域交流センターを。
- ・共産党は自民党の独走を許さないよう更なる力で訴えて欲しい。



りませんか。（今回でこのシリーズを終わりにし、あらためて登場したいと思います。）

米沢敏夫